

平成 29 年度  
事業計画書

千葉商工会議所

# 目 次

## 平成 29 年度 事業計画書

第一 計画の策定にあたって	1
第二 重点事業	2
1. 中小企業の持続的発展	2
（1）経済情勢、需要動向の把握と提供	2
（2）中小企業に寄り添っての支援	2
（3）ビジネスチャンスの創出と販路拡大	3
（4）新たな事業展開の推進	3
（5）女性の活躍推進	3
（6）連携による支援体制の強化	4
2. 人材の確保と育成	4
（1）人材不足への対応と多様な人材の活用	4
（2）人材の育成	4
（3）働く環境づくり	5
（4）健康経営への推進	5
3. 域内の経済活動の活発化	5
（1）J R 千葉駅周辺地域の再整備の促進	5
（2）様々な人々が魅力を創出するまちづくり	5
（3）まちづくりを活かした観光振興	6
（4）訪日観光客の取り込み	6
4. 東京オリンピック・パラリンピックへの取組	7
5. 意見・要望・政策提言活動の着実な展開	7
6. 堅牢な組織基盤の確立と財政基盤の強化	7
（1）全所をあげての会員増強	7
（2）商工会議所の活動を支える独自収入の増加	8
（3）社会の変化に対応する職員の資質・能力の向上	8
（4）コンプライアンスの徹底	8

7. 広報機能の積極的活用	8
(1) 的確な情報の収集と提供	8
(2) 情報交流の促進	9
(3) 地域での信頼につなげるイメージアップ	9
8. 会員交流等の促進	9
(1) 会員交流の促進	9
(2) 会員サービスの向上	10

## 第一 計画の策定にあたって

---

中小企業を取り巻く経済社会情勢は依然として厳しいものがあり、また先行きの不透明感も高まる中で、地域経済の振興に責任を持つ商工会議所は、中小企業の多様な事業活動の発展を図るとともに、その活動の基盤となる地域の活性化に向けて、様々な主体と連携・協働し、地域の抱える様々な課題等にきめ細かく対応していかなければならない。正にそうした地方創生の取組のコーディネーターとして、その中心的な役割が求められている。

こうした中、当所では、先に、石井会頭3期目の新体制による今後の3年間の施策・事業の方向性を示す「中期行動計画」（2017-2019年度、テーマ「新たな千葉の時代を拓く総合力の展開」）を策定したところである。同計画においては、JR千葉駅新駅舎の開業を契機とする今後の半世紀を見据えた街づくり・地域づくりの始まりを、新たな千葉の時代が動き出した大きな転換期として捉えている。さらに、当所はこうした動きを千葉市と共に着実に推進する重要な役割を担っており、多くの様々な強み（総合力）をフルに発揮していかなければならないとしている。

本事業計画は、その中期行動計画に基づく初年度の事業計画として取りまとめたものであり、役議員・職員をはじめ広く会員の協力を得て、全所的な取組のもとで、信頼され、期待される商工会議所を目指して、以下の諸事業を推進していくものである。

### 1. 中小企業の持続的発展

#### (1) 経済情勢、需要動向の把握と提供

会員の業況をはじめ、経済情勢・需要動向等を定期的・計画的に把握し、迅速に提供していく。

#### ※強化していく事業及び新たにに取り組む事業の例示（以下同じ）

- ①域内景気動向等に関する調査の実施
- ②県内の経済動向に関する説明会の開催（千葉財務事務所、企業調査機関等）
- ③関係機関等が定期的に公表する調査結果の一元的な提供
- ④国内外の需要動向に関するセミナーの開催（該当分野の企業人、業界団体、シンクタンク等）
- ⑤商圈情報分析に資するGIS（地理情報システム）の活用
- ⑥会員間相互の情報共有の推進

#### (2) 中小企業に寄り添ったの支援

生産性やサービス力の向上をはじめ、事業展開上の様々な課題について、専門家・関係機関・大学等の一体的な協力を得て、経営者とともに継続して取り組んでいく。また、その支援体制のワンストップサービス化を推進する。

- ①巡回・窓口相談体制の強化
  - ②行政・金融機関・大学等との連携による支援体制の強化
  - ③各種制度融資や国等の補助制度の活用
  - ④意欲的な経営者向けセミナー（シリーズ）の開催
  - ⑤優良事例企業現場視察会の開催
  - ★⑥専門家の活用（分野・対象の拡大）、現役企業人によるワークショップ型相談会の実施
  - ★⑦関係会員からなるIT導入促進のためのプロジェクトチームの設置
  - ★⑧千葉県事業引継ぎ支援センターの拡充
- 他に、各種講演会・セミナーの開催、中小企業再生支援の実施等

### (3) ビジネスチャンスの創出と販路拡大

展示販売会や商談会などの回数の増大やその内容の多様化を図るとともに、商工会議所のネットワークを積極的に活用し、新たなビジネスや販路拡大の機会を創出していく。更に、ジェトロ等と連携して、より多くの会員の海外展開を促進する。

- ①多様な展示販売会・商談会などの開催とその定期「開催市」化の検討
  - ②商工会議所間のネットワークである「ザ・ビジネスモール」の活用推進
  - ③市内外における会員事業者の情報発信とPR
  - ④大口需要企業等との商談・説明会の開催
  - ⑤農業や水産業分野の団体・事業者との交流の推進
  - ★⑥海外展開を目指した検討チームの設置（会員による検討）
  - ★⑦バイヤーや大口需要者、取引相手等のデータベースづくり
- 他に、各種講演会・セミナーの開催、関係機関が開催する各種商談会への参加等

### (4) 新たな事業展開の推進

域内での事業者数の増加や経済活動範囲の拡大に向けて、新たに創業する者や第二創業を行う者に対し、専門家、金融機関等やまた会員の協力をも得て多様な支援を展開していく。

- ①会員や金融機関などの協力による実践型創業塾の開催
- ②先進事例企業視察会の開催（首都圏）
- ★③多様なビジネスモデルを学ぶワークショップの開催

### (5) 女性の活躍推進

女性経営者等の活動を広く紹介し、そのネットワーク化を促進するとともに、域内での女性の起業が実現しやすい環境づくりを進める。

- ★①関東商工会議所女性会連合会総会千葉大会の開催（6月）
- ②多様な交流会の開催
- ③女性経営者等の積極的なPR
- ④女性経営者等向けセミナー（フォーラム）の開催
- ★⑤注目されている女性経営の現場視察会の開催
- ★⑥会員の協力による女性向け起業セミナーの開催
- ★⑦女子大学生等による女性経営の企業見学会（ファンづくり）

## (6) 連携による支援体制の強化

上記(1)～(5)の一連の取組を具体的・効果的に行うため、当所が中心的役割を担って、行政をはじめ専門家や研究機関等との緊密な連携による支援体制を強化する。

★①関係支援機関や大学、専門家等による支援事例の発表会（シンポジウム）

## 2. 人材の確保と育成

### (1) 人材不足への対応と多様な人材の活用

人材不足の状況を的確に把握し、新規学卒者はもとより就業を希望する女性や高齢者、外国人などの多様な人材確保へ向けて、教育機関や専門事業者などの協力を得て、多様なマッチングの機会を設けるとともに、受入環境づくりを推進する。

- ①関係機関との連携による大学・高校生のインターンシップ事業の推進
- ②新規学卒者向け企業説明会・現場見学会の開催
- ③採用に向けた経営者向けセミナーの開催
- ④大学・高校等（就職指導担当）と会員との情報交流会の開催
- ★⑤求められる業種や人材の態様などの実態調査
- ★⑥受入環境づくりのための講習会や専門家による個別指導  
他に、千葉県地域ジョブ・カードセンター事業など

### (2) 人材の育成

会員の事業活動を支える従業員等の資質の向上を支援するとともに、その従業員間の交流をも推進し、相互協力による啓発活動を展開する。また、その取組にあたっては、会員の有する人材を積極的に活用していく。

- ①新入社員教育をはじめ、階層別・分野別の学習機会の提供
- ②人材育成に向けた経営者セミナーの開催
- ★③業務を通じた人材育成課題等に対応した専門家の派遣
- ★④従業員間の交流の定期的な開催（宿泊研修含む）
- ⑤会員優良従業員表彰の実施
- ⑥各種検定試験の普及拡大（簿記、リテールマーケティング、珠算、ビジネス実務法務、福祉住環境コーディネーター、国際会計、環境社会、メンタルヘルスマネジメント、ビジネスマネジャー等）

### (3) 働く環境づくり

職場環境の見直しや福利厚生の実を支援するとともに、多様な人材に対応した環境づくりや育児・介護への組織的な対応など、計画的・体系的な取組を促進する。

- ★①良好な職場環境づくりの取組事例の紹介（セミナーの開催等）
  - ②各種共済・保険制度の普及
- ★③多様な人材の効果的な活用事例視察会の開催
- ★④育児や介護などの先進的取組事例の紹介（セミナーの開催等）

### (4) 健康経営への推進

従業員の健康づくりを経営的な視点で捉え、生産性の向上、ひいては業績や企業価値の向上につなげる「健康経営」の普及を推進する。

- ①関係団体等と連携した啓発活動の推進
- ★②「健康経営優良法人認定制度」の普及推進
- ★③「健康経営アドバイザー制度（派遣）」活用の検討
- ④生活習慣病検診事業の普及と業務の効率化

## 3. 域内の経済活動の活発化

### (1) JR千葉駅周辺地域の再整備の促進

県内経済を牽引する中心拠点として、JR千葉駅の新駅舎及び駅ビルの整備に伴う周辺地域の再整備とともに多様な機能の集積を促進する。

- ①JR千葉駅周辺の再開発の促進
- ②中心市街地の活性化に向けた提言・要望活動

### (2) 様々な人々が魅力を創出するまちづくり

千葉都心、幕張新都心、蘇我副都心などを有する強みを活かし、個々の事業者をはじめグループや団体、大学等様々な活動主体と連携しながら多様な魅力の創出を図り、誰でもがその滞在を満喫できる空間づくりを推進する。また、市の「海辺のランドデザイン」等を踏まえた整備に合わせ、各拠点との回遊性の向上を促進する。

- ①「中心市街地商店街等活性化計画」の着実な推進



- ②千葉市商店街連合会や中心市街地まちづくり協議会などと連携して、各商店街の活性化・賑わい創出の支援
- ★③中心市街地東口エリア循環バスの運行促進
- ★④中心市街地における魅力ある個店の誘致
- ★⑤各拠点間の相互往来を推進する連携イベントの実施
- ★⑥県内各地との広域連携の推進（アンテナショップの展開等）
- ★⑦港湾緑地や棧橋などを活用した関係事業者や団体等との連携によるイベントの検討・実施
- ★⑧幕張新都心地区における大規模イベント等での会員事業者の情報発信とPR
- ★⑨市の「海辺活性化検討会」での取組を踏まえた各種事業の検討  
他に、中心市街地まちづくり協議会の運営等

### （3）まちづくりを活かした観光振興

まちづくりに合わせ、観光振興の視点に立って様々な人々が立ち寄り、また滞在し楽しめる魅力づくり・受入体制づくりを推進し、域内外からの来訪者の増大を図っていく。

- ★①市街地を取り込んだ観光モデルコースづくり
- ★②中心市街地東口エリア循環バスを活用した「まちあるき」の推進
  - ③県外からの産業観光モニターツアーの実施（1泊2日、内陸部の県対象）
- ★④集積する飲食店の魅力の発信と客層拡大化の促進
- ★⑤県内外の団体等の主催する多様なイベントの誘致
- ★⑥県内外を結ぶバスターミナルの検討  
他に、千葉市民花火大会や千葉城さくら祭りの活用等

### （4）訪日観光客の取り込み

2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催を見据え、行政をはじめ関係団体等と連携して、海外からの来訪者にとっても滞在しやすい環境づくりを進め、その消費力を積極的に域内経済に取り込んでいく。

- ①多言語による情報発信の促進
- ②Wi-Fi環境の整備
- ③ホテルと商店街との連携・協働による受入体制づくり
- ④外国人旅行者に対応する研修の実施
- ⑤消費活動の促進（免税店、キャッシュレス決済の普及）

## 4. 東京オリンピック・パラリンピックへの取組

2020年東京オリンピック・パラリンピックの成功に向けて、機運の盛り上げ、おもてなし体制づくり、様々な魅力の発信、ビジネス機会の創出などの諸準備を着実に進め、その成果を今後の地域経済の発展につなげていく。

- ★①市が予定する「2020 おもてなし推進協議会（仮称）」との連携
- ★②機運の盛り上げ、おもてなしなどの諸準備事業の検討と実施
- ★③会員をはじめ役議員、職員による推進体制づくり
- ★④第2エンブレムの積極的な活用
- ★⑤会員の協力による両大会の本県関係候補選手の活動応援
- ★⑥ビジネス機会の検討と取組（会員によるワークショップ）
- ⑦「ビジネス・チャンスナビ2020」の利用促進による受注拡大

## 5. 意見・要望・政策提言活動の着実な展開

地域経済社会の代弁者として、部会、委員会活動等を通じて、会員の意見等を集約し、国、県、市等に対して提言・要望活動を展開する。また、これらの活動にあたっては、当所自らの具体的な事業活動を踏まえた、より実践的なものとなるよう努める。

- ①国・県・市等に対する適時、適切な提言・要望活動の展開
- ②要望活動への体系的な取組
- ③役議員・部会員の政策企画能力の向上
- ④他の経済団体等との交流・意見交換会の開催
- ★⑤地域の経済社会情勢に関するセミナーの開催（多様な分野の活動家から学ぶ）
- ⑥要望活動における関係機関・団体との連携の推進

## 6. 堅牢な組織基盤の確立と財政基盤の強化

### （1）全所をあげての会員増強

役議員・職員の日々の業務活動での様々な機会を捉え、新たな会員の獲得に努めるとともに、部会を中心とした域内全域における計画的な増強活動を展開する。

- ①全職員による訪問入会勧奨の強化
- ★②部会による増強運動の展開
- ③会員間のネットワークの効果的な活用
- ④金融機関等の協力関係の強化

## ⑤新たな会員サービス事業の調査・検討

### (2) 商工会議所の活動を支える独自収入の増加

会員の協力や会員間のネットワークを最大限に活用して、収益事業の新たな発掘と拡大を図り、独自の安定的な収入を確保していく。また、国等の補助制度を積極的に活用する。

- ①共済制度の普及と積極的な活用
- ★②新たな収益事業の体系的な検討と事業化
- ③国・県・市・日本商工会議所・関係団体等の補助制度の積極的な活用

### (3) 社会の変化に対応する職員の資質・能力の向上

商工会議所の効率的・効果的な運営に向けて、事務局職員の資質・能力の向上と意識改革を推進する。そのための職員の自己研鑽をはじめ業務を通じた教育などを計画的に行っていく。

- ①専門家・現役企業人による職員個々の事務改善指導
- ②関係団体・会員企業等の協力による優良事例研修の実施
- ③職位に応じた計画的・体系的な職員研修の充実
- ④会員の協力による現場研修の実施
- ★⑤関係機関等との人事交流の計画的な実施

### (4) コンプライアンスの徹底

商工会議所（役職員）として、自らに課せられた使命と役割を認識し、「信頼され、期待される商工会議所」となるため、常に高い倫理観と責任感を持って誠実に業務遂行するとともに、組織体制の整備や意識改革に取り組む。

## 7. 広報機能の積極的活用

### (1) 的確な情報の収集と提供

会員が求める情報を的確に把握・収集し、当所の広報媒体やセミナーなどを通じて、スピード感を持って提供していく。また、中小企業への理解促進の観点から、広く市民も含めた地域全体にも分かりやすく提供していく。

- ①広報媒体間の連関による効果的な発信

- ②メディアを活用した新商品・新サービスの情報発信
- ③事業・イベント等の事後広報の徹底（取組結果の紹介）
- ④会員間の情報共有化の推進（メディア掲載記事の紹介等）
- ⑤多くの人を訪れる場所での商工会議所活動や会員情報の発信
- ★⑥会員による「広報機能強化連絡会（仮称）」の設置

## （２）情報交流の促進

会員の有する有益な情報の共有化を促進するとともに、地域の活性化に取り組むグループや団体等との連携による情報のネットワーク化を進め、会員の事業活動の活発化に繋げて行く。

- ①会員情報の収集と提供による会員間での様々な活動の促進
- ②関係団体等との連携・協働による広報活動の展開

## （３）地域での信頼につなげるイメージアップ

地域において中小企業が担っている役割への理解を深めるとともに、地域の抱える様々な課題に対する取組を積極的に発信していくことで、知名度の向上とイメージアップを図り、地域社会との協力・信頼関係を強化していく。

- ①中小企業が地域で担う役割の積極的なPR
- ②地域の様々な課題等への取組とその情報発信
- ③様々な主体との連携による地域活性化策の検討と実施
- ④会員の協力による地域貢献活動の推進
- ⑤イメージアップ戦略のとりまとめ
- ⑥商工会議所活動を紹介する新たなパンフレットの作成
- ⑦パブリシティ活動の強化

# 8. 会員交流等の促進

## （１）会員交流の促進

域内外に有する商工会議所の人的ネットワークを活用して、会員相互の交流を促進し、会員の結束力を高めるとともに、会員の活動範囲の拡充を図っていく。

- ①会員が参加しやすい多様な交流会の実施（定期交流会を含む）
- ②エリア別交流会の試行（近隣商工団体との合同の交流会も含む）
- ★③会員企業の従業員を対象とした交流イベントの開催

- ④プロスポーツ観戦など地域の多様なイベントへの団体参加
  - ⑤幕張新都心地区の会員交流の拡充
  - ⑥他商工会議所との相互交流のための視察会の開催
  - ★⑦大規模な交流事例の定期的な視察（会員大会の検討）
- 他に、支店長交流会、新会員の集い、土業交流会の開催等

## （２）会員サービスの向上

既に取り組んでいる経営面や福利厚生面での支援のみならず、会員の多様なニーズに対応した各種サービスを幅広く検討し、商工会議所活動への参加促進や、また費用対効果を勘案しながら、積極的に事業化を進める。

- ★①会員の多様なニーズを把握するためのアンケート調査の実施
- ★②他商工会議所の参考事例を踏まえた具体化の検討と実施

# 千葉商工会議所

THE CHIBA CHAMBER OF COMMERCE AND INDUSTRY

〒260-0013 千葉市中央区中央2-5-1

2017年3月